「キャリア・パスポート」を活用した授業例　年度始め

1. 小学校　学級活動（特別活動）
2. 低～高学年　学級活動（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」

　　　　　　　　　　　　　　　ア　現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

1. 題材「○年生になって」
2. 事前の指導

▶前学年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見返して前学年での学習や生活を振り返るとともに、理想の学級生活やなりたい自分について考える。（必要に応じて「小学生のみなさんへ」のページを読み、「キャリア・パスポート」を記入することの意義を確かめる。）

1. 本時の学習

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導の留意事項 |
| 導入  つかむ | ○前学年の年度末に書いたキャリア・パスポートをもとに、前学年を振り返り、自分や友達の成長について話し合う。  ○これまでの自分を振り返って、なりたい自分について願いをもつ。  ・目標をもって生活することの大切さに気づく。  ・前学年と比べた自分たちの成長について考え、成長を重ねていくことが大切であることに気付く。 | ▶記録のみの時間とならないようにする。  ▸導入では、これまでの自分の学習や生活を振り返るとともに、将来の自分と今の自分がつながっていることを理解し、今年度の具体的な目標を考える気持ちを高める。  ▸今の自分の経験や思いを記録していくことの意義を感じられるようにする。 |
| 展開  さぐる  見つける | 〇将来の夢や○年生としてなりたい自分、できるようになりたいことを発表し合う。  ・道徳科の学習や伝記などを参考に、将来と今はつながっていることや思い描いている夢が叶わなくても今取り組んでいることは無駄にならないことに気づくようにする。  〇なりたい自分になるために、どんなことに取り組めばよいか話し合う。  ・学校生活や家庭、習い事などでどんな力がつくか考える。  ・これまでの自分の経験をもとに話し合うようにする。  ・全ての経験が、自分の成長につながることに気付き、様々なことに挑戦しようという意欲をもつ。 | ▸互いの思いを尊重し合う雰囲気が大切になる。  ▸自分の経験が、友達へのアドバイスになることを伝える。  ▸友達の経験が、全て自分にも当てはまるかは分からないことを伝えておく。その上で、自分の意思で決定することが大切であることを伝える。 |
| 終末  決める | 〇なりたい自分になるための目標やこれから取り組むことを決める  　・意思決定したことをめあてカードに記入する。 | ▶話し合ったことを生かして自分に合った具体的な実践内容や行動目標を意思決定することができるようにする。 |

1. 事後の指導

▶意思決定した目標や実践方法について１週間程度取り組み、ペアやグループで振り返って互いの頑張りや成果を認め合う。

▶継続した実践となったり、必要に応じて新たなめあてを立てて取り組んだりすることができるように助言する。